



本会議 初登壇

石井苗子議員は10月19日、本会議に初登壇。議題は197の国と地域が参加する、地球温暖化ガス削減の新たな国際条約「パリ協定」。

石井議員は、外交・安全保障政策については、憲法の平和主義をしつかり守りながら、国益を重視する現実路線をとると明言したうえで、米中などに後れを取っているパリ協定への早期批准を求めました。石井議員は気温上昇を産業革命前と比較して2℃下げるといふ困難な課題に立ち向かうこととなります。

地球温暖化問題

気候変動問題、いわゆる地球温暖化問題に対して世界的に懸念が高まる中、石井議員は、環境委員会の理事として世界の環境問題に取り組みます。

97年の京都議定書の採択以降、実効性のある対策が10年近く議論された結果、昨年12月のCOP21でパリ協定が採択されました。

京都議定書では、条約上の削減目標を實際に達成することを、先進国に義務付けていましたが、パリ協定では、各国が達成すべき削減目標は明確に決められていません。

パリ協定は、達成をめざす目標を各国が自ら作成・提出して国内措置を実施することを、途上国を含むすべての国に義務付けています。

達成目標の義務付け

石井議員はパリ協定が全ての国の合意を優先するあまり、各国ごとの目標が先送りされていることを指摘。



外務大臣は各国の達成目標が提出、実施、レビューの各段階において公表義務を負うことから、実効性の担保を示唆しました。

公平性の担保

京都議定書の採択以降、日本は温室効果ガスの排出削減目標を達成し続けてきました。しかしパリ協定では

これまで排出削減の義務を負っていなかった多くの国が参加することになります。

石井議員は排出削減目標の公平性についても言及し、環境大臣が一定の理解を示す場面もありました。

COP22は11月7日からモロッコで開催されます。

裏面に続きます

初質問 環境委員会

石井議員は本会議の翌日、10月20日に環境委員会での初質問を迎えました。

前日の本会議において参議院先議で審議入りした「パリ協定の締結について承認を求めるの件」通称・パリ協定の審議です。本条約は、国際間の条約であることから、

外交防衛委員会に付託されました。しかしながら気候変動問題等を議論する政策課題であることから環境委員会での審議もなされました。



石井議員はパリ協定に関する議論に加え、環境ビジネスを後押しするグリーンボンド、国土交通省が推進するコンパクトシティ、PM2.5の課題、マイクロプラスチックによる海洋資源汚染問題、そしてライフワークである福島の復興を帰還困難地域の復興拠点化という論点から次々と大臣らに質問。合計9つの政策課題を議論しました。環境大臣が「震災以降、石井議員が福島での医療支援に取り組まれていることを敬意を表したいと思います。」と述べるなど、党派を超えた充実した初質問となりました。

おかげさまで大盛況

石井苗子を励ます会

300名の皆様にご来場いただいた**石井苗子を励ます会**。

お一人おひとりの皆様に心から感謝申し上げます。

今後とも、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

石井苗子を支える会（後援会）では会員を募集中です。

ご入会お待ちしております！

お問い合わせ

国会事務所 03-6550-1115



石井苗子の国会タックル

ニコニコ生放送とラインライブで放送中！

毎週月曜日よる 生放送

石井苗子の国会タックル

フェイスブック、ツイッター、HPで事前告知をさせていただきます！おかげさまでまもなく10回目！



目黒区議会議員
山本ひろこさん



東京都議会議員・大田区
やながせ裕文さん